

**公共空間の有効活用
調査特別委員会
活動報告 (要旨)**

調査テーマ

「日常的に中心市街地へ人が集まる
取組みについて」

名鉄知多半田駅から半田運河周辺にかけての中心市街地は、広い歩道や公園などの公共空間が整備されており、民間事業等との連携が進展すること、かつての賑わいの創出が期待できると考えています。

昨年度末に「半田市中心市街地活性化基本計画」が策定され、知多半田駅前東ロータリーのリニューアルや泉線のウォークアブル化が掲げられ、歩いて楽しいまちながつくりを目標としています。そこで、これからの公共空間の活用には、人が集まりたくなる仕組みや歩行者に優しい街づくり等が必要と考え、「半田市中心市街地活性化基本計画」を踏まえながら、日常的に中心市街地へ人々が集まる取組みについて、先進自治体へ調査してまいりました。

神戸市の三宮駅周辺では、車から人中心の空間に転換していくため、沿道店舗による道路空間を活用したテラス営業が行われていました。また、灘駅では、ロータリーの車道を一方通行化にし、安全な通行が実現していました。

岡山市では、歩行者の空間を創出するため、車道を2車線から1車線

化にしていました。豊田市では、かつて滞留しづらい駅前広場が、ストリートスポーツを楽しむ若者が集う活気ある場へと生まれ変わっていました。

以上の調査を踏まえ、以下の通り提言しました。

一、道路空間の多様な活用が可能な環境を整備すること。「歩行者利便増進道路(通称・ほこみち)制度」等の制度を活用し、歩道に隣接する事業者による利用やイベントスペース、休憩場所としての活用の仕組みを構築すること。

一、公園や広場の利用促進のため、魅力的な空間作りを進めること。ルールを明確にし、利用者が責任を持つて活用できる仕組みを構築するとともに、様々なアクティビティやニーズに対応できるように活用環境を整備すること。

一、持続可能な維持管理のための仕組みを構築すること。市民意識の醸成を図り、地域や利用者の協力を得て持続可能な維持管理体制を確立すること。

新しい形の公共空間を創るには、ハードとソフト事業の明確化、実現可能性の整理、行政・事業者・住民の役割を明確にする必要があります。また、柔軟で魅力的な空間を創出することで、地域活性化と市民生活の向上に繋がると考えます。

この提言が中心市街地に限らず、必要とされる公共空間全体に繋がることを願っています。

半田市議会の年間スケジュール

半田市議会は、年4回定期的に開かれる「**定例会**」と必要に応じて開かれる「**臨時会**」があります。また、議員は所属する委員会において様々な活動を行っています(※総務・文教厚生・建設産業の3つの常任委員会と議会運営委員会、特別委員会は、それぞれ6月に調査テーマを定め、市への提言に向けた調査等を行っています)。



1月	2月 ☆	3月	4月	5月 ☆	6月	7月 ☆	8月	9月 ☆	10月	11月 ☆	12月
調査テーマに関する市への提言の取りまとめ		3月臨時会(議案の審議) 3月定例会(議案・新年度の予算審議、代表一般質問)		調査テーマに関する市への提言(報告) 5月臨時会(議長・副議長を始めとした役員選挙等)	6月定例会(議案の審議、一般質問)	調査テーマに関する勉強会、視察等	8月臨時会(議案の審議)	9月定例会(議案・前年度の決算審査、一般質問) 事業評価	調査テーマに関する勉強会、視察等		12月定例会(議案の審議、一般質問)

◎市議会では年間を通じて市民への広報活動を行っています。☆印は「はんだ市議会だより」の発行月

※半田市議会以外、近隣の市町で構成される組合議会などにも出席しています。